

平成28年度9月補正予算案の概要

生き生き働き活躍できるまち創り

静岡県藤枝市

平成28年 8月26日

9月補正予算編成 基本方針

I 未来に向けたまちを創る

- ◆ 健やかな暮らしと子どもを育み、次世代を創る
- ◆ 産業としごとを創る
- ◆ 出会いと人の流れを創る
- ◆ 広域連携体制を創る

II 安心で健全なまちを創る

- ◆ 安全で安心な暮らしを創る
- ◆ 元気で安心な暮らしを創る
- ◆ 便利で安心な暮らしを創る

■補正予算の規模

一般会計 4億7,300万円

全会計

区 分	既定予算	9月補正 予算額	補正後 予算額
一般会計	479億7,700万円	4億7,300万円	484億5,000万円
特別会計	336億1,900万円	2億6,200万円	338億8,100万円
企業会計	222億3,300万円	—	222億3,300万円
合 計	1,038億2,900万円	7億3,500万円	1,045億6,400万円

※特別会計…介護保険(国県等返還金、基金積立等)

企業会計…病院事業会計(業務委託に係る債務負担行為)

■ 補正予算の特徴

★ 「藤枝のまち創り」の加速化

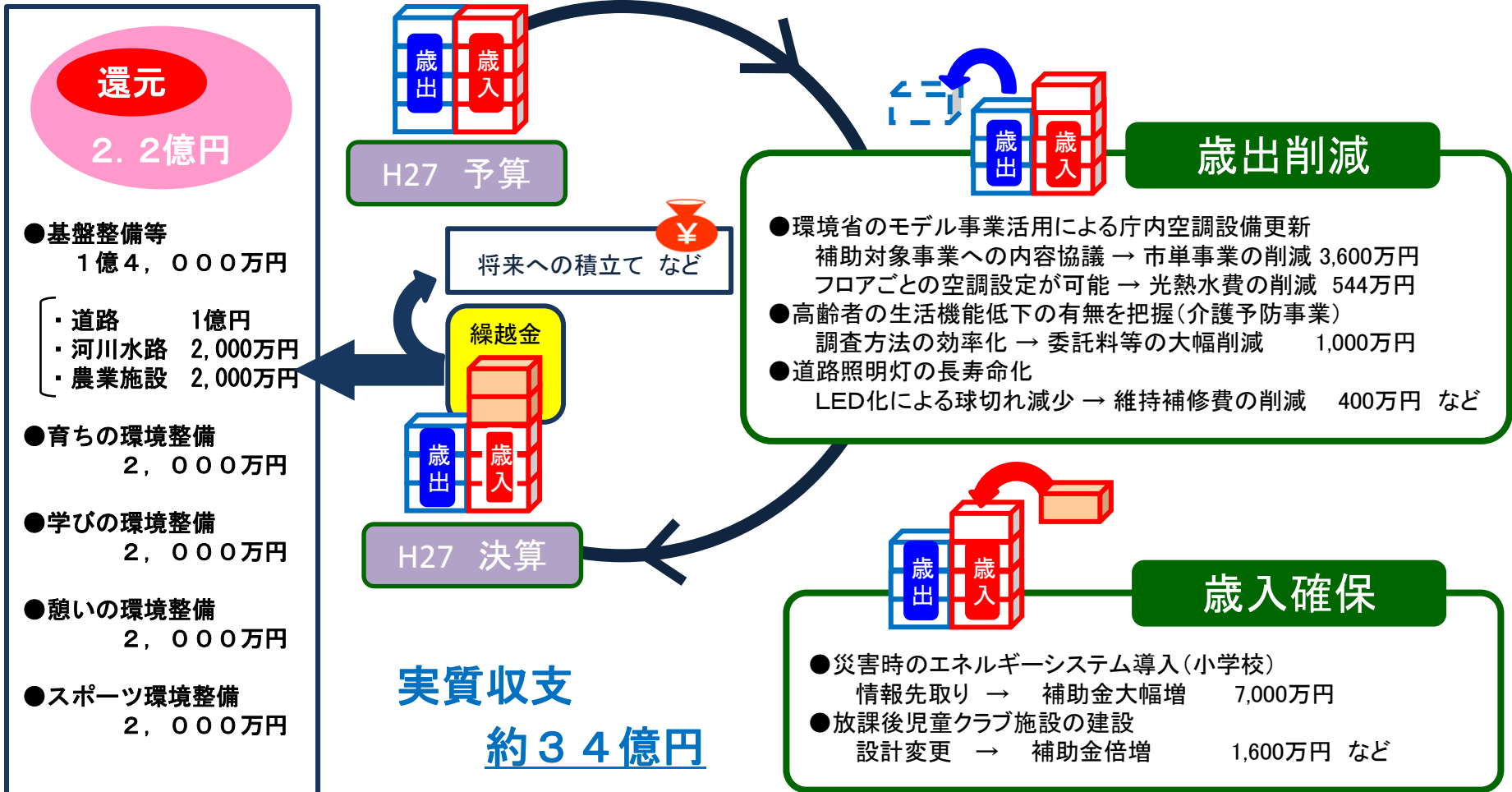
地方創生推進交付金の活用
広域連携の推進

★ 職員の努力による成果を市民に還元！

職員の創意工夫と
効率的な執行に努めた成果の一部を
市民生活の充実のために活用

市民生活の充実のために

～職員創意工夫と努力による成果(前年度繰越金)を市民に還元～



I. 未来に向けたまちを創る

健やかな暮らしと子どもを育み、次世代を創る

【新】プログラミング教育推進事業費〔地方創生交付金 1/2〕 700万円

次世代を担う理系人財育成を推進するため、市内中学生を対象としたプログラミング学習の集中講座の実施と、市在住の高校生、大学生及び社会人を対象にしたICT講座を開催

◆ **エキスパート養成事業** ⇒ 即戦力として活躍できる人財を輩出

高校生以上対象のエキスパート養成のための講演会、講座を開催

- プログラミング教育の現状と今後の発展や、IT業界で求められている人材等をテーマに講演会を開催
- アンドロイドアプリ開発など、実践に近い技術を身に付ける講座を開催

◆ **ロボットキャンプ開催事業** ⇒ 基礎知識の習得とICTに関する興味関心の醸成

中学生を対象に、人形ロボットを題材にしたプログラミング学習を集中的に実施

対象者：市内中学生100人 実施期間：3日間

【拡】サッカーのまち藤枝・なでしこ育成事業費〔企業版ふるさと納税〕

100万円

女子サッカーの普及と次世代選手の育成のため、地域おこし協力隊とともに、藤枝なでしこアカデミー、藤枝なでしこ広場の実施や講演会、イベント等を開催

(既定予算100万円と合わせ全体事業費200万円)

○ 補正により追加する事業

◆ イベント開催

現役選手をゲストに招き、サッカークリニックやトークショー等を開催（12月実施予定）

◆ プロモーションビデオ制作

女子サッカー普及、啓発のためのプロモーションビデオを制作し、市及び市内各チームのホームページへの掲載や、講演会、各種イベント等で放映



産業としごとを創る

【新】地元産業成長支援事業費〔地方創生交付金 1/2〕

650万円

地元産業におけるICT活用やロボット導入を促進し、事業の効率化や拡大を図ることにより、収益力向上や、他分野への新展開による地元産業の活性化につなげるとともに、ICT人材の雇用の受け皿づくりを行う

◆ ICT・ロボット導入啓発事業

「ふじえだ産業祭」等のイベントを活用し、市内企業がロボット等に触れる機会を創出し、市内企業のICT導入機運の醸成を図る

◆ 地元企業ICT導入意向調査

ICT技術を導入し、業務改善を図る意志のある企業を抽出する意向調査を実施する。また、市内中小企業の現状分析のための実態調査を併せて実施し、今後の事業展開を図るためデータベース化する

【新】起業・創業支援事業〔企業版ふるさと納税〕

300万円

起業創業を継続的に支援するため、インキュベーション施設(起業創業の初期段階において安価な賃料で借りることのできるオフィスや店舗)の本市における設置可能性調査を実施

◆ 創業支援施設調査事業費

インキュベーション施設の整備に向けた
空き店舗等の物件調査及び
利用可能性調査を、
宅建協会や商店街組合等と協力して実施し、
今後の事業展開のためデータベース化する



【新】クラウドワーク支援事業費〔地方創生交付金 1/2〕

900万円

結婚や出産、育児また介護等による離職者や、定年退職者等の潜在ワーカーを積極的に活用し、地域の経済力向上を図るため、ICTを活用した、場所や時間を選ばない新たな働き方(クラウドソーシング)を提供

◆ 推進ビジョン策定

ICT及びIOT、クラウドソーシング活用に向けた推進ビジョンを策定し、次年度以降の実効的な事業の推進を図る

◆ クラウドワーカー実態調査

仕事の受注者である「ワーカー」になり得る人財及び働く意欲のある者を調査し、データベース化する

◆ 企業セミナー開催

市内企業に向け、クラウドソーシングの概要や具体的に依頼可能な業務や発注方法等をテーマにしたセミナーを開催

出会いと人の流れを創る

【新】新婚生活サポート事業費〔国庫補助 3/4〕

1,000万円

経済的理由で結婚に踏み出せない方を対象に、結婚に伴う新生活を経済的に支援

◆ ふじえだ新婚生活サポート事業費

(予算措置額: 50万円 × 20世帯)

対象世帯: 世帯所得300万円未満

補助対象: 新居の住居費、引っ越し費用等

補助率: 10/10以内

補助限度額: ① 18万円/世帯 ② 市外から1人が転入の場合 36万円/世帯

③ 市外から2人が転入の場合 50万円/世帯

(②③については半年以内に本市から転出した者の転入は対象外)



国の事業に協調すると共に、**本市独自の取り組み**を加えて実施!

結婚する両方または一方が市内に転入してくる場合は

国基準額の18万円に加え、**市独自に18万円、32万円を加算**

[子育てファミリー移住促進助成(中学生以下の子供を持つ世帯の転入)の50万円と同額]

広域連携体制を創る

【新】情報技術導入促進事業費〔地方創生交付金 1/2〕

50万円

ICTの活用による地元産業の競争力の向上と新分野展開、起業創業支援、若い世代の就業環境づくりとともに、主婦層等の潜在ワーカーに対するクラウドソーシングの提供に向け、各事業推進の主体となる組織を設立

◆ 藤枝・島田ICTコンソーシアム設立支援

本年度に準備組織を立ち上げ、次年度以降の本格的な稼働を目指すこととなる団体への財政支援を実施

〈参加予定構成団体〉

ソフトバンク(株)等民間ICT企業

地元金融機関

地元大学 など

島田市との連携事業



II. 安心で健全なまちを創る

安全で安心な暮らしを創る

■ 消防・救命・水防体制強化の推進

【拡】地域安全・安心力強化推進事業費〔県交付金 1/2、1/3〕 **4,700万円**

消防、救命及び水防に対する消防団や自主防災会等の活動環境を整備し、地域の安全安心力を強化

◆ 消防強化

消火活動資機材（ディスクストレイナー、無反動管そう等）
消防団員活動用被服（夏用活動服導入、防火衣等）

◆ 救命強化

救命講習等啓発活動用資機材（AEDトレーナーセット
訓練用水消火器等）

◆ 水防強化

情報伝達資機材（IP無線機）※若手プロジェクト提案事業：大規模災害発生時にも活用！
水防活動用資機材（救命胴衣、吸水性土のう等）



【拡】感震ブレーカー等設置推進事業費〔県交付金 1/2〕

1,000万円

災害時の住宅の出火や延焼被害の減少を図るため、感震ブレーカーの設置を促進

◆ 感震ブレーカー等設置事業費補助金

感震ブレーカーの設置助成

補助額等：設置費用の2/3(上限5万円、千円未満切り捨て)

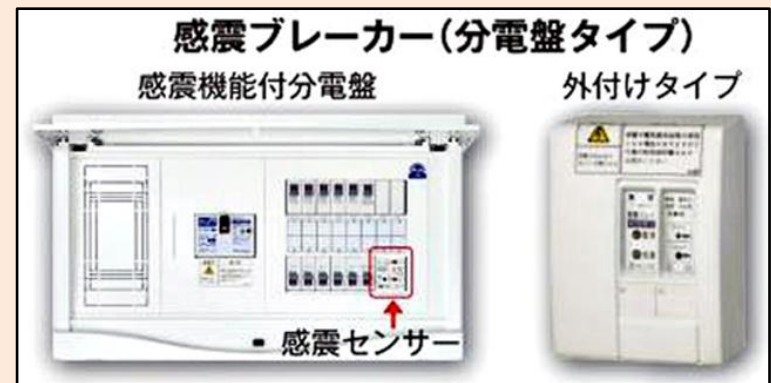
ただし新築住宅は、一律1万円

市民の防災ニーズに対応！
設置目標を1年前倒し



既定予算額 : 1,000万円
(500件分)

補正後予算額 : 2,000万円
(1,000件分)



■ 風水害対策の推進

【拡】 河川浚渫経費

300万円

河川、調整池の堆積土砂等を除去し、安全な河川環境を維持

・藤岡川、大溝川、南谷川 ほか $V=630\text{m}^3$

【拡】 河川・水路改良費

2,000万円

安全な河川、水路環境を整備

・高柳一丁目地内水路改修工事

L=40m ほか



【拡】 大新島用排水路整備事業費

570万円

農作物の冠水被害防止のため、用排水路の改良工事を前倒しで実施

・水路工 L=39m (本年度事業完了)

■ 基盤整備の推進

【拡】 暮らしの道緊急修繕事業費

4,000万円

安全な道路環境を維持

- ・自治会、町内会等からの情報提供(危険箇所等)への対応

【拡】 道路新設改良事業費

6,000万円

緊急性の高い地元要望に対応し、安全な道路環境を整備

- ・本町大東町線(本町地内)道路整備工事

施行延長 L=50m ほか



【拡】 市単土地改良事業工事費

2,000万円

地元要望及び老朽化による緊急対応箇所に対応し、安全な農業施設を整備

- ・高柳地内水路改良工事、志太地内水門設置工事 ほか

元気で安心な暮らしを創る

■ 市民生活を応援

【新】育ちの環境を整備

2,000万円

子どもの健全な成長を支援するため、公立保育園の備品や設備を整備

・大型遊具更新、保育室の床改修、調理機器更新、幼児用トイレ改修 等

【新】学びの環境を整備

2,000万円

市民の文化活動を支援するため、生涯学習センターや公民館等の備品を整備

・会議用テーブル、椅子 等

【新】憩いの環境を整備

2,000万円

市民が憩いの場として快適に利用できる空間とするために、公園環境を整備

・遊具改修(駅南公園ほか)、園路改修(金比羅山緑地ほか)
トイレ改修(蓮華寺池公園ほか)、フェンス改修(潮公園ほか) 等

【新】スポーツ環境を整備

2,000万円

市民のスポーツ活動を支援するため、スポーツ施設の備品を整備
・フード付きベンチ、武道場たたみ 等

■ 新たな疾病予防制度の導入

【新】B型肝炎予防接種

1,690万円

予防接種法改正によるB型肝炎ワクチン接種に対応

◆ B型肝炎ワクチン

接種対象：1歳に至るまでの間にあるもの

（平成28年4月1日以後生まれの者について適用）

接種回数：生後2か月から1歳到達までにワクチン3回接種

接種方法：医療機関にて個別接種

予防接種経費：全額公費負担



便利で安心な暮らしを創る

■ システムセキュリティ対策の強化

【拡】 情報セキュリティ強化対策事業

4,000万円

マイナンバー制度に伴い、地方自治体としての情報セキュリティ対策を強化するため、情報システムネットワークの改修を実施

事業内容: ネットワークの3層分離

■ 納付環境の利便性向上

【新】 コンビニ収納準備経費

140万円

市民の納付環境の利便性向上のため、各種公共料金等のコンビニ収納を開始

事業内容: システム連携テスト及びバーコードスキャンテスト

運用開始: 平成29年4月1日

対象: 介護保険料、後期高齢者医療保険料、市営住宅使用料、保育料



元気共奏・飛躍ふじえだ

～元気つながる、笑顔ひろがる。～

真に“選ばれるまち”へ